

# The EBARA

報告書 | 2019年1月1日 — 2019年6月30日

巻頭  
特集

技術で、熱く、世界を支える  
新社長インタビュー

Looking ahead, going beyond expectations  
*Ahead > Beyond*

# The EBARA

報告書 | 2019年1月1日 — 2019年6月30日

## 目次

- 01 イントロダクション
- 03 巻頭特集  
「技術で、熱く、世界を支える 新社長インタビュー」



- 05 事業概況
- 07 セグメント情報



- 09 海外展開
- 10 トピックス



- 11 ステークホルダーとの関わり
- 13 財務情報
- 14 企業情報

詳しい業績情報は  
当社WEBサイトへ



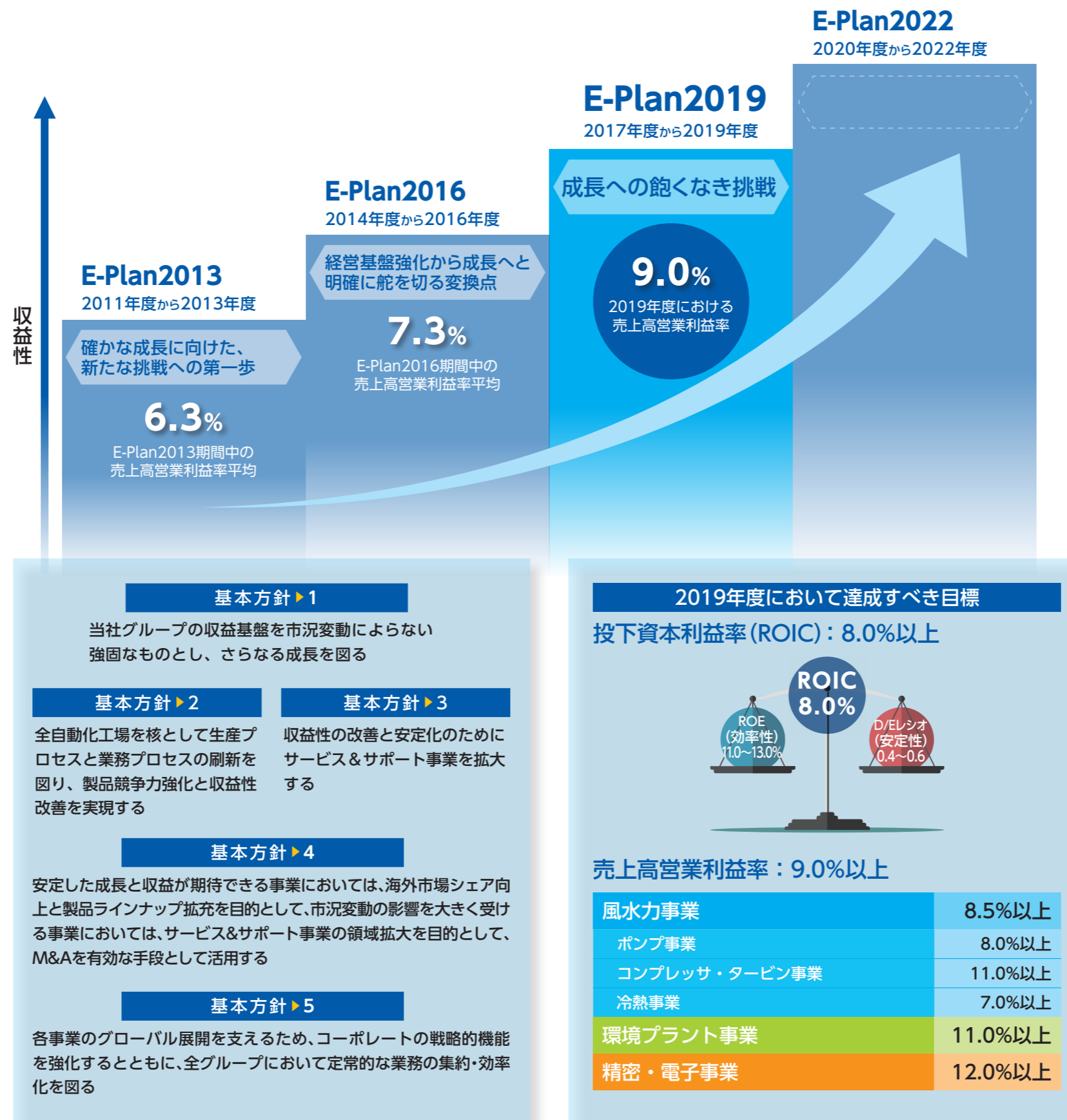
<https://www.ebara.co.jp/about/ir/index.html>

## 中期経営計画 [E-Plan2019] 成長への

世界規模で事業展開し成長する産業機械メーカーへとさらなる全事業の収益性を徹底的に改善することを目標とし、「成長へ

## 飽くなき挑戦

発展を目指すために、「成長への飽くなき挑戦」を実行していきます。



### 創業の精神「熱と誠」



与えられた仕事をただこなすのではなく、自ら創意工夫する熱意で取り組み、誠心誠意これをやり遂げる心をもって仕事をする。そして、何事も熱意と誠心をもって人に接すれば、相手に通じないことはない。

### 企業理念

水と空気と環境の分野で、優れた技術と最良のサービスを提供することにより、広く社会に貢献する。

### ブランドステートメント

Looking ahead,  
going beyond expectations

Ahead ▶ Beyond

業界を牽引するリーディングカンパニーとして、期待や想像を超える製品やソリューションをご提供していきます。また、「Ahead, Beyond」には、決して現状に満足することなく、常にさらなる高みを目指し挑戦し続ける当社の企業精神も込められています。

# 技術で、 熱く、 世界を支える

**Q** 社長の経歴と経営観について教えてください。

私は1986年に荏原製作所に入社し、精密・電子事業に長く身を置いていました。半導体産業は変化の速い業界であり、お客様が厳しい競争環境の中で勝ち残っていくために必要な開発や生産でのサポートを全社一丸となつてとことん行うことを日常的に実践してきたことが、私自身の成長に繋がっています。数々の難局を乗り越える経験を繰り返すことが、人や会社を成長させるのだと身をもって確信しています。当社には、人のため、社会のため、地球環境のために働きたいという思いを持ち、真面目で、一生懸命に仕事に励む従業員がたくさんいます。従業員一人ひとりが、そんな思いをもって仕事に取り組み、力を出し切ることで、企業価値を最大化すると共に、各々のやりがいと誇りに繋げていく、そんな企業文化を築いていくことが私の使命であり、その使命を果たすことで、当社をもっと成長させることができると信じています。

**Q** 当社が社会に必要とされ続ける理由は何だと思えますか。

当社グループは、創業以来大切にしてきた「熱と誠」の精神をもって仕事に取り組み、100年以上にわたって磨き続けてきた高い技術力を駆使して、社会、産業、くらしを支える製品・サービスを提供することを自らの存在意義としてきました。これはこれからも変わりません。時代ごとの社会要請や地域ごとのお客様のニーズに応じて、コア技術を応用し、進化させ、組み合わせ、新たな製品やソリューションを提供することが当社の存在意義であり、存在し続けられるための要因であると考えています。

**Q** これからの荏原の目指す姿について教えてください。

これからの当社グループのミッションは、「技術で、熱く、世界を支える」という言葉に集約されると思います。

進行中のE-Plan2019では、「世界規模で事業展開し、成長する産業機械メーカー」になることを目指しています。産業構造の大変革やアメリカと中国の摩擦などの政治的なリスク要因もあり、先を見通しにくい状況にあるものの、今起こっている技術革新で変わっていくこれからの社会には、当社が活躍できる機会が増えると考えています。あらゆるものがつながるIoT、それを支えるクラウド(Cloud)、人工知能(AI)、車の自動運転(Car)、通信速度100倍の次世代通信システム(5G)。これらの頭文字をとったICAC5(アイカックファイブ)と呼ばれる技術は、人々のより豊かな暮らしと地球環境の保全に貢献していける大きな可能性を秘めています。当社の事業領域は、ICAC5の発展に不可欠な半導体、それを支える社会・産業インフラに密接に関わっています。2030年に向かって、ICAC5が実現するよりスマートで快適かつ強靱な社会、そして全世界が目指す持続可能な社会の実現に貢献し、当社が成長を続けていくために、世界で何が必要とされるのか、世界で製品・サービスを使っていただくにはどうしたら良いのか、ということにこれまで以上に目を向けて、技術と熱意をもって、世界を支えていける企業でありたいと思います。



代表執行役社長  
**浅見 正男**

経歴

- 1986年4月 当社入社
- 2010年4月 当社執行役員
- 2011年4月 当社精密・電子事業カンパニー営業統括部長
- 2014年4月 当社常務執行役員
- 2015年6月 当社執行役常務
- 2016年4月 当社精密・電子事業カンパニープレジデント
- 2019年3月 当社取締役(現在)
- 同 当社代表執行役社長(現在)

確かな技術力を強みに成長を続け、  
熱い志をもって持続可能な社会の構築に貢献する。  
荏原は豊かなくらしを支える製品・サービスを  
世界中に広げていきます。

代表執行役社長 **浅見 正男**



## さらなるコーポレートガバナンス体制の強化について

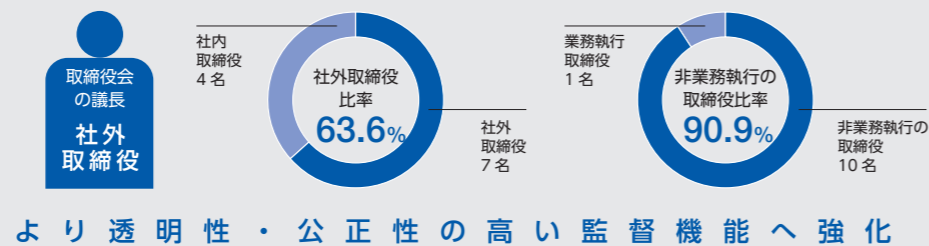
昨今、世の中ではコーポレートガバナンスへの注目度が高まっており、取締役会の在り方やその機能が問われています。当社では早くからこの問題に対して取り組み始め、2015年には指名委員会等設置会社へ移行、取締役の半数以上を社外取締役にするなど、経営と監督の分離に努めてきました。また、2016年からは取締役会の実効性評価を開始し、コーポレートガバナンスを有効に機能

させるための取組も行ってきました。しかし当社取締役会は、さらに透明性・公正性の高い監督機能へ強化する必要があると考え、今年3月より執行役を兼務する社内取締役を2名減員し、取締役11名中7名を社外取締役に占める構成にするとともに、取締役会議長を宇田社外取締役が務める体制としました。

当社は、常に最良のコーポレートガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組んでいきます。

### 取締役会の構成

2019年3月に、取締役会の構成が右のとおり変更されています。



## 第155期第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、世界では石油・ガス市場において一定の投資水準が継続する一方、半導体市場においては前四半期に引き続いて投資の調整局面にあります。日本国内では、公共投資が堅調に推移していることに加え、民間設備投資では例年並みの状況が続いており、全体として市況は底堅く推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループの売上高は2,480億55百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益は129億73百万円(前年同期比11.9%減)、経常利益は133億49百万円(前年同期比5.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は80億25百万円(前年同期比7.4%増)となりました。

下期も、当期目標を達成すべく、全グループ一丸となっ

て邁進してまいります。

## 株主還元について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営方針の一つとして位置付けており、連結総還元性向30%を目標に当該期の業績に連動して実施する方針としています。この方針に基づき、当期の中間配当金は期初の計画どおり1株当たり30円とさせていただきました。

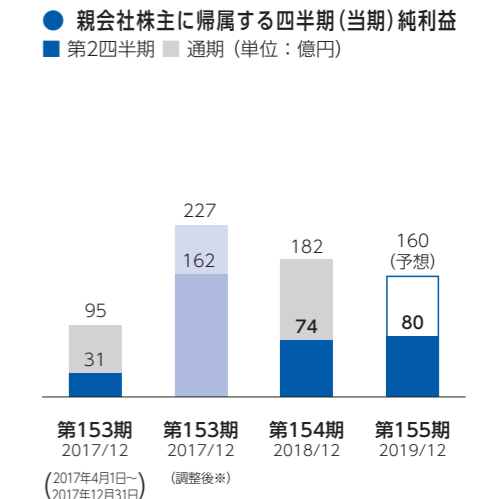
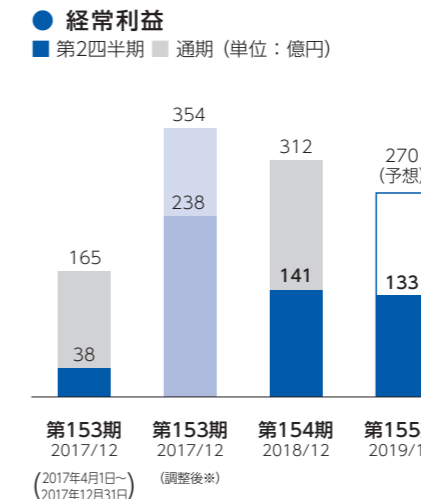
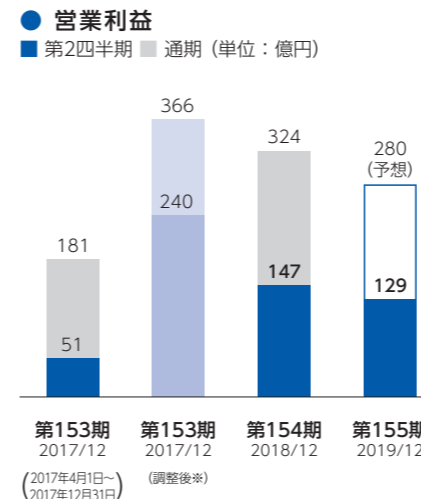
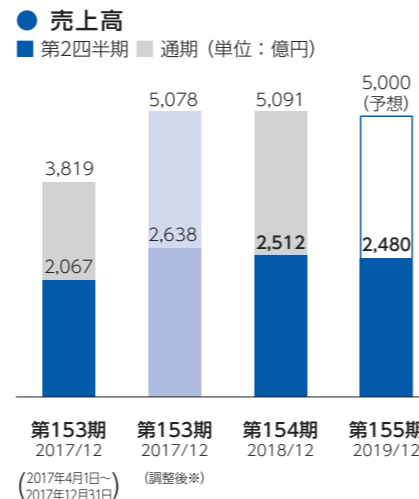
また、前期は約50億円の自己株式を取得しましたが、今期も取得金額を増やし、約150億円の自己株式を取得しています。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 連結業績ハイライト

売上高	2,480億円	前年同期比	1.3%	↓
営業利益	129億円	前年同期比	11.9%	↓
経常利益	133億円	前年同期比	5.8%	↓
親会社株主に帰属する四半期純利益	80億円	前年同期比	7.4%	↑

※当社は、2017年度より当社及び従来3月決算であった連結子会社の決算日を3月31日から12月31日に変更し、当社と連結子会社の決算日を12月31日に統一しました。調整後の数値は、2017年1月1日から12月31日に調整して換算しています。





## 風水力事業

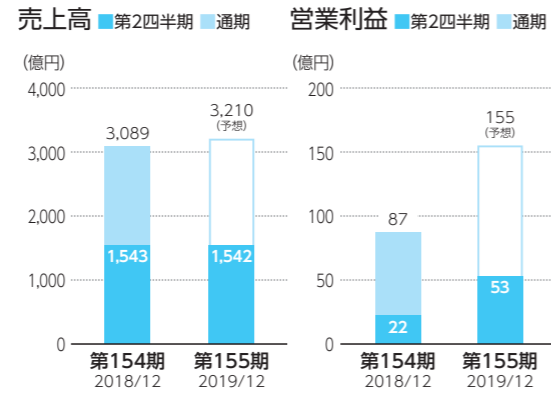
**売上高** 1,542億円  
前年同期比 0.1%減

**営業利益** 53億円  
前年同期比 133.6%増

**主要製品**

ポンプ、コンプレッサ、タービン、冷凍機、冷却塔、送風機

- POINT**
- コンプレッサ・タービン事業の売上が、工事進行の遅れにより減少。(－)
  - コンプレッサ・タービン事業でサービス&サポート比率が上昇し、増益。(＋)
  - 冷熱事業で製品の売上が増加し、増益。(＋)



ポンプ



コンプレッサ



冷凍機

### ● インド・バンガロールサービスセンターに新工場を増設

コンプレッサ・タービン事業では、大型コンプレッサや大型蒸気タービンを扱うサービスセンターをインド・バンガロールに2015年に開設しています。2019年2月に、「中・小型蒸気タービンの生産」と「アフターサービスの拡充」を目的として、新たに工場を増設しました。

中・小型蒸気タービンは、駆動用・発電用として、石油化学工業、食品、一般化学分野、バイオマスプラントなど幅広い産業分野で使用されています。新工場増設により、インド・東アジアで拡大する需要に対し迅速に対応する体制が整いました。また、トレーニングセンターなどを備えており、エネルギー供給システムの多様化やエネルギー需要の拡大に対して、アフターサービスへの取組を一層強化していきます。



インド・バンガロールの新工場



## 環境プラント事業

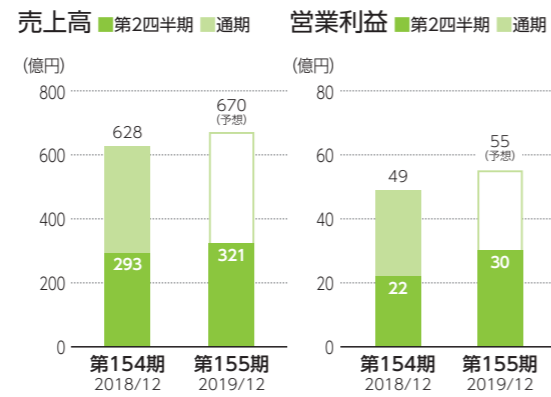
**売上高** 321億円  
前年同期比 9.6%増

**営業利益** 30億円  
前年同期比 39.7%増

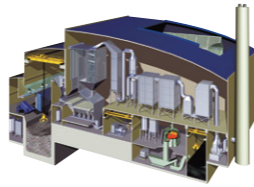
**主要製品**

都市ごみ焼却プラント、産業廃棄物焼却プラント、バイオマス発電プラント

- POINT**
- 運転管理・メンテナンスを行うO&M案件の売上が増加し、増益。(＋)



廃棄物焼却プラント



ストーカ式焼却システム

### ● 木質バイオマス発電設備建設市場への取組

環境プラント事業は、再生可能エネルギーの導入促進の重要性が高まる中、木質バイオマス発電設備の建設に積極的に取り組んでいます。2019年3月には株式会社エフオン新宮向け新宮発電所新設工事を受注、2019年6月には合同会社JRE神栖バイオマス発電(ジャパン・リニューアブル・エナジー・グループ)向けバイオマス発電所の建設工事を完了し、年間約2億kWh(約4万5,000世帯分の年間消費電力相当)の発電を開始しました。

当社は、顧客のニーズに応じた最適なソリューションの提案し、自治体向け廃棄物処理施設のみならず、民間顧客の木質バイオマス発電設備の導入を支援することで、持続可能な社会の構築に貢献していきます。



JRE神栖バイオマス発電所



## 精密・電子事業

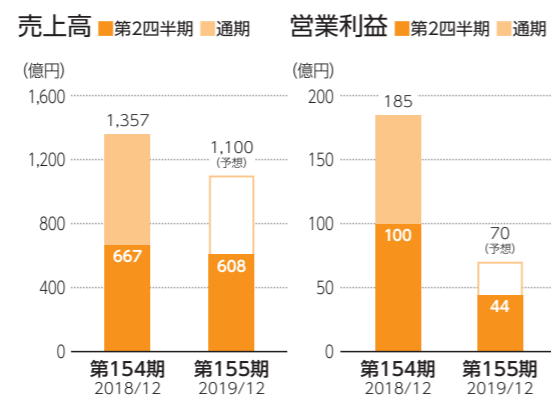
**売上高** 608億円  
前年同期比 8.7%減

**営業利益** 44億円  
前年同期比 55.8%減

**主要製品**

真空ポンプ、CMP装置、めっき装置、排ガス処理装置

- POINT**
- 半導体市場の設備投資はメモリ向けを中心に低水準で、CMP事業・コンポーネント事業ともに売上が減少。(－)
  - 開発案件が増加し、減益。(－)
  - 人件費が増加し、減益。(－)



CMP装置



ドライ真空ポンプ



めっき装置

### ● ドライ真空ポンプの自動化工場の建設開始

精密・電子事業は、中期経営計画E-Plan2019に則り、自動化推進により生産プロセスと業務プロセスを刷新し、製品競争力を強化するため、主力製品であるドライ真空ポンプの生産を行う自動化工場の建設を開始しました。(2019年12月竣工、2020年春稼働予定)

IoTやAI、5Gの広がりを背景に半導体需要は中長期的に拡大することが予想されます。これに伴う半導体製造に欠かせないドライ真空ポンプの需要に対応するため、自動化工場を新設することで生産能力を高めてまいります。

今回の自動化工場新設で、お客様のニーズに合わせたタイムリーな生産を実現します。さらに稼働後も、自動化を中心とした最新技術導入を継続し、さらなる生産性向上に取り組んでいきます。

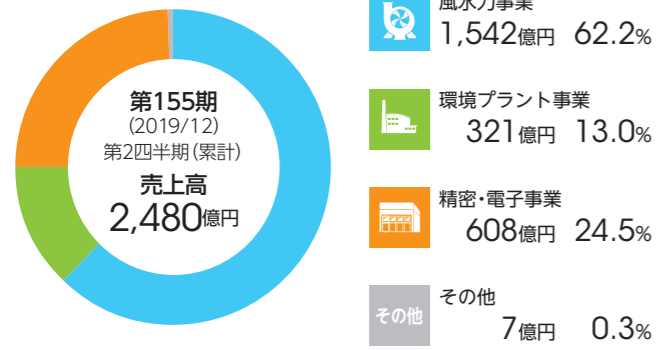


自動化工場(V7棟)完成予想図

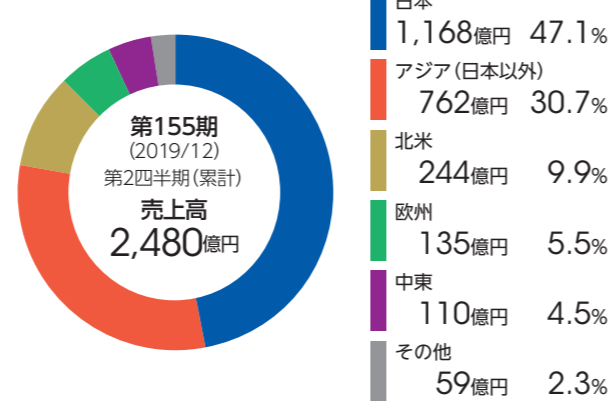
# Global View

海外展開 (2019年6月30日現在)

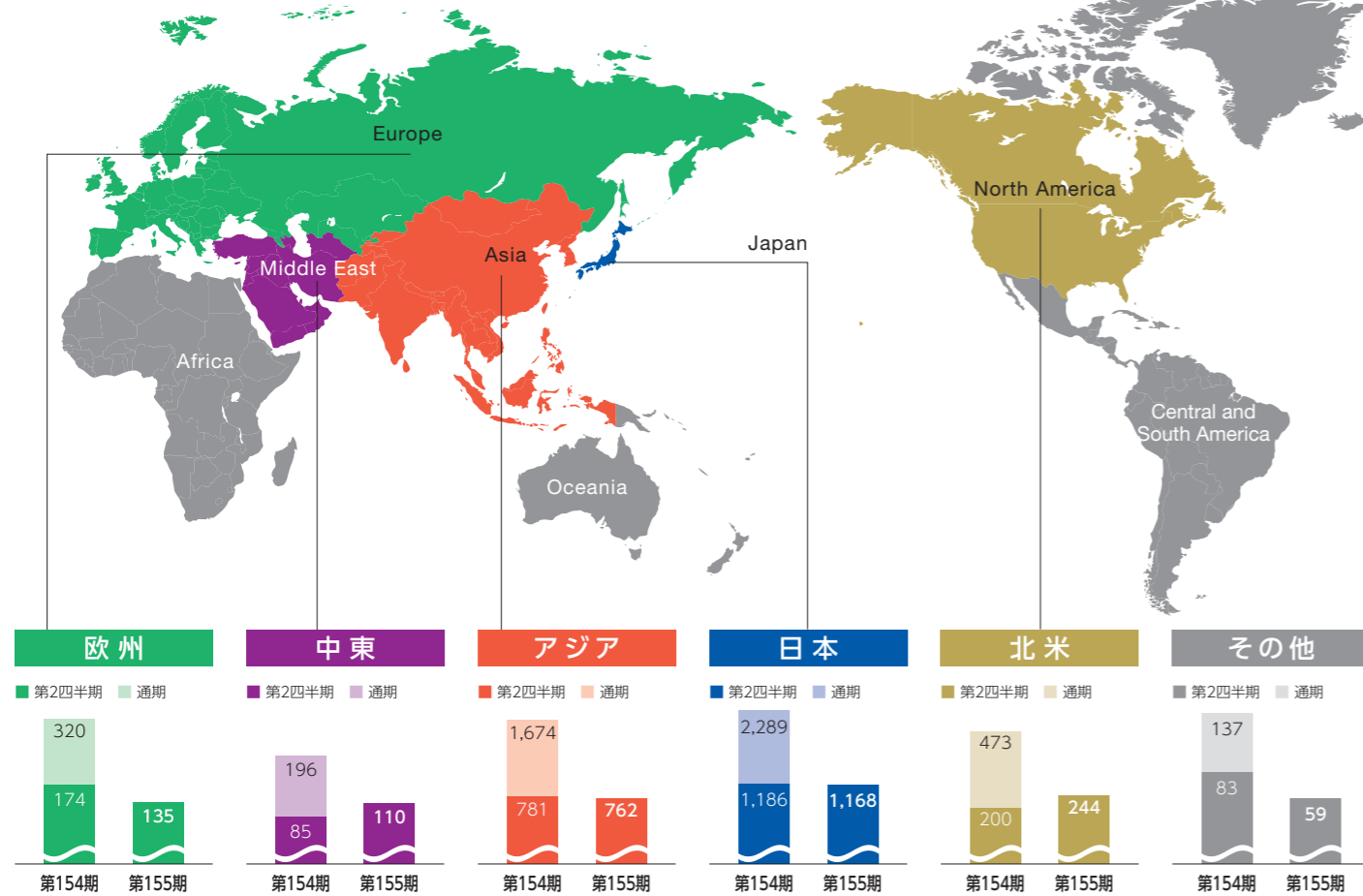
## 事業別連結売上高



## 地域別連結売上高



## 地域別売上高の推移 (単位:億円)



## 国内・海外の関係会社数

95社

海外	
関係会社	62社
● アジア	32社
● 北米	6社
● 欧州	10社
● 中東	4社
● その他	10社
国内	
関係会社	33社

## 海外売上高 / 海外売上比率

1,311億円 / 52.9%



# Topical News

トピックス

## 荏原グループの動き (2019年1月 → 2019年6月)

- 1 JAN**
  - GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」と「改善度の高い統合報告書」に選定
  - 新TV-CM「歌う技術力」篇のオンエア開始
  - ドライ真空ポンプ自動化工場(V7棟)の建設を開始
- 2 FEB**
  - インド・バンガロールサービスセンターに新工場を増設
  - 畠山清二記念荏原基金 ポンプ技術セミナーをカンボジアで実施
  - 第3回次世代火力発電EXPOに出展
  - ごみ識別AIを搭載した自動クレーンシステムの運用を開始
  - フィリピンに洪水対策用の排水ポンプ車を納入
- 3 MAR**
  - 畠山清二記念荏原基金 ポンプと冷凍機の技術セミナーをベトナムで実施
  - 標準ポンプの技術ブランド「eDYNAMiQ」を制定
  - 株式会社エフオンより木質バイオマス発電設備建設工事を受注
  - 第154期定時株主総会を開催
- 4 APR**
  - 鶴家(つるが)排水機場に排水ポンプ設備を納入
  - 株式会社Ridge-iとAI・IoT技術の活用に関する企画・研究・開発に向けた業務提携基本契約を締結
- 5 MAY**
  - 金融安定理事会(FSB)により設置された「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言に賛同
  - 新たな企業広告活動「エバラナラバ」が始動
  - 名古屋で個人株主様向け会社説明会を実施
- 6 JUN**
  - 当社初 産業プロセスポンプ国際規格(ISO5199)適合GSO型を発売
  - 広島で個人株主様向け会社説明会を実施
  - 汚泥高湿焼対応型流動床式ごみ焼却システムが、「第45回優秀環境装置表彰」日本産業機械工業会会長賞を受賞
  - 蕨戸田衛生センター組合より基幹的設備改良工事を受注
  - ジャパンリニューアブルエナジー株式会社から受注した木質バイオマス発電所を竣工



eDYNAMiQブランドロゴ



鶴家排水機場に納入した排水ポンプ設備



株INCJ、株リコーと共に株Ridge-iに出資



産業プロセスポンプ GSO型

## IRカレンダー



## 地域・社会とのコミュニケーション

### カンボジア/プノンペンで「畠山清二記念荏原基金」セミナーを開催しました

畠山清二記念荏原基金(以下、荏原基金)は、2019年2月21日から22日の2日間、カンボジア/プノンペンのカンボジア工科大学(ITC)でポンプ技術セミナーを開催し、ポンプの基礎知識、ポンプ設備の基本計画、省エネ対策などの講義を行いました。今年で11回目となるセミナーを公共事業関係者、民間企業の技術者、大学生など約100名が受講しました。

また、当社が昨年、口径800mmの排水ポンプを5台納入したプノンペン市内の排水ポンプ場の見学会も開催しました。プノンペン市中心部は周囲に比べて標高が低く、近年の人口増加に伴い都市排水設備の整備が課題となっています。

当社は、技術指導などの国際協力を通じて、世界各国で相互理解を深めてきました。1989年の荏原基金設立以来、世界各地でセミナーを270回以上開催しており、延べ13,000名以上が参加しています。



### 新たな広告宣伝活動を始めました

2019年5月に、広告宣伝活動の一環として、技術に妥協せず、熱意をもって世界中の社会課題の解決に挑戦していく、荏原の精神を持ったヒーロー「エバラナラバ」をキービジュアルとした広告展開を開始しました。

一般の方にも親しみやすいビジュアルと、新しいことが始まるというワクワク感を演出することで、より多くの方に興味を持っていただき、当社の認知・事業理解のきっかけとなることを期待しています。

今後さまざまな媒体やツールで展開していきます。

#### ●スペシャルサイト

▶ <https://www.ebara.co.jp/ebaranaraba/>



### 「エコプロ2019 持続可能な社会の実現に向けて」に出展します

当社は2019年12月5日から7日の3日間、東京ビッグサイトに開催される「エコプロ2019」に出展します。本展示会は、日本最大級の環境保護・社会課題の解決をテーマとして、企業や大学などが出展し、来場者は環境への関心の高い一般消費者やビジネスパーソン、行政・自治体、NPO、環境教育を目的とした学生、報道関係者など、環境を取り巻く多様なステークホルダーが一堂に集う他に類を見ない展示会です。

本展示会への出展は約10年ぶりとなります。当社グループのミッションである「技術で、熱く、世界を支える」を出展コンセプトとし、本会のメインテーマである「SDGs(国連が定めた17の持続可能な開発目標)」に沿った事業活動をご紹介します予定です。

是非、当社の出展ブースへご来場ください。

## エコプロ2019

### エコプロ2019

会期:2019年12月5日(木)~7日(土) 10:00~17:00

会場:東京ビッグサイト 西・南ホール

主催:(一社)産業環境管理協会、日本経済新聞社

入場料:無料

来場者数(2018年実績):162,217人

公式URL:<http://eco-pro.com/2019/>

## 株主・投資家とのコミュニケーション

### 2019年3月 第154期定時株主総会を開催しました

2019年3月28日、ベルサール東京日本橋地下2階イベントホールにて第154期定時株主総会を開催しました。監査報告、事業報告、トピックスなどについてご説明後、「剰余金の処分の件」「取締役11名選任の件」の2議案を審議し、原案通り承認可決されました。



出席者数	436名(前年度比73名増)
質問者数(質問数)	7名(10問)
所要時間	1時間31分

#### 今年度の展示コーナー

映像やパネル等を用いて、新製品や各事業についてご説明しました。



社外取締役 宇田(写真右)が株主様からのご質問に回答しました。

定時株主総会の詳細は、当社WEBサイトでご覧いただけます。

●株主・投資家情報「株主総会」▶<https://www.ebara.co.jp/about/ir/stock/shareholdersmeeting/index.html>

### 2019年5月、6月 名古屋・広島で会社説明会を開催しました

より多くの個人株主様及び個人投資家の皆様に当社事業について一層のご理解をいただくことを目的に、名古屋及び広島で会社説明会を開催しました。多くの方にご参加いただき、執行役 永田より当社の概要などについてご説明した後、たくさんのご質問やご意見をいただきました。

#### ●名古屋 5月23日開催

対象	個人株主様	個人投資家様
開催場所	安保ホール	野村證券株式会社 名古屋駅前支店
参加者数	約20名	約80名

#### ●広島 6月13日開催

対象	個人株主様	個人投資家様
開催場所	アークホテル 広島南	SMBC日興証券株式会社 広島支店
参加者数	約30名	約40名



当日の様子や配布資料は、当社WEBサイトでご覧いただけます。

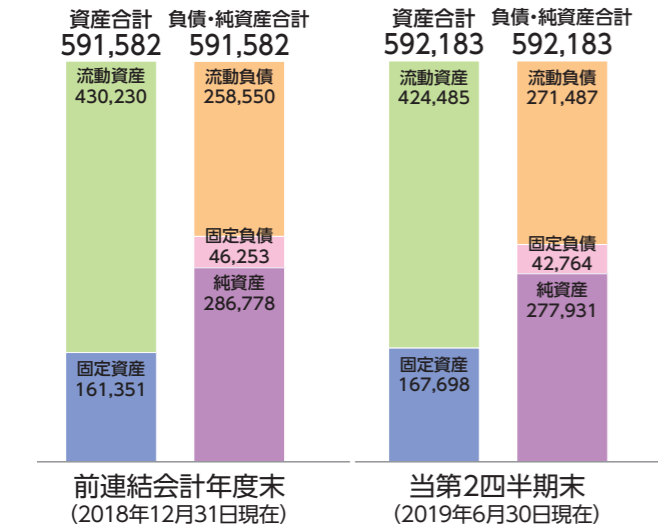
●株主・投資家情報「個人投資家の皆様へ」▶<https://www.ebara.co.jp/about/ir/Shareholder/index.html>

# Financial Information

財務情報 (2019年6月30日現在)

## 連結貸借対照表の概要

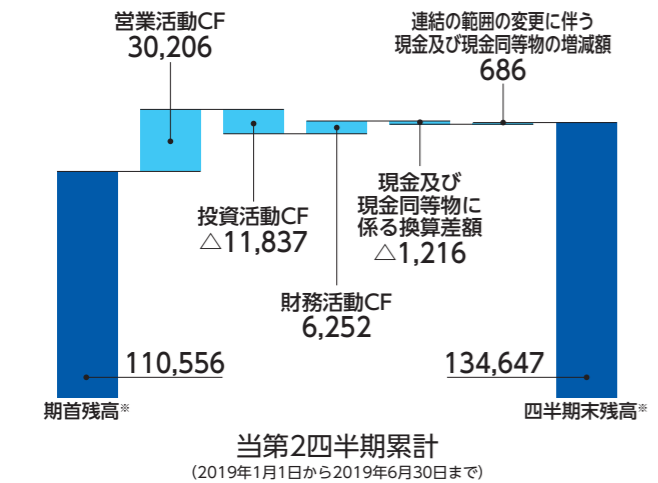
(単位:百万円)



※当該年度において「税効果会計に係る会計基準」の一部改正等を適用したことに伴い、2018年12月期については遡及適用後の数値を記載しています。

## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



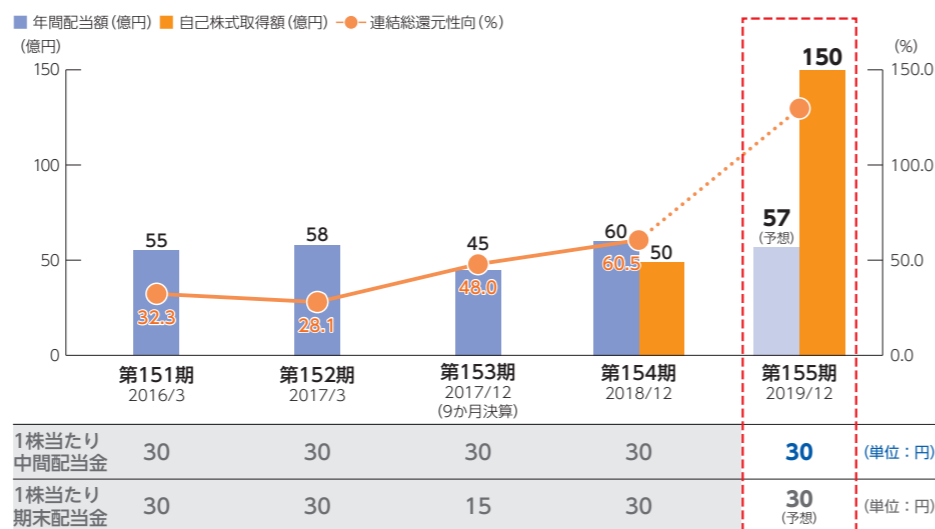
※「期首残高」及び「四半期末残高」は現金及び現金同等物の残高

## 株主還元

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営方針の一つと位置付けており、連結総還元性向30%以上を目標に当該期の業績に連動して実施する方針としています。

※当社は、2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しました。右のグラフでは、過去4年に遡って比較できるように第151期の期首に株式併合が行われたと仮定して表示しています。

### 【ご参考】株主還元の推移



## 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期(累計) 2018年1月1日から 2018年6月30日まで	当第2四半期(累計) 2019年1月1日から 2019年6月30日まで
売上高	251,257	248,055
売上原価	187,387	185,642
売上総利益	63,870	62,413
販売費及び一般管理費	49,148	49,440
営業利益	14,722	12,973
営業外収益	1,503	1,599
営業外費用	2,054	1,222
経常利益	14,171	13,349
特別利益	406	124
特別損失	3,098	638
税金等調整前四半期純利益	11,478	12,836
法人税等	3,389	3,974
四半期純利益	8,089	8,862
非支配株主に帰属する四半期純利益	617	836
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,471	8,025

# Corporate Information

企業情報 (2019年6月30日現在)

## 会社概要

商号	株式会社荏原製作所
本社所在地	〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号
電話	(03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)
創業	1912年(大正元年)11月
資本金	791億円
従業員数	4,041名(連結17,039名)
関係会社	子会社90社(うち連結子会社65社) 関連会社5社

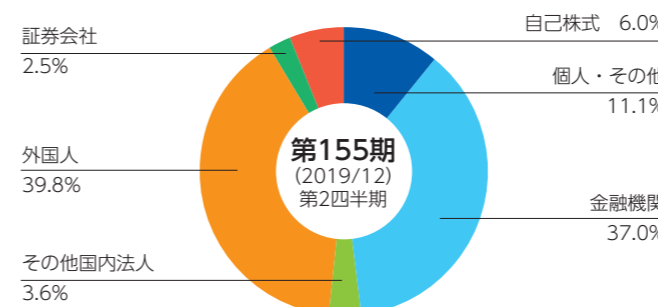
## 株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	102,019,253株
株主数	21,321名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,127	10.6
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	9,485	9.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,712	7.0
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	4,327	4.5
HSBC TRINKAUS AND BURKHARDT AG RE: DE-CLTS A/C RE AIF	2,057	2.1
全国共済農業協同組合連合会	2,054	2.1
株式会社みずほ銀行	2,000	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,737	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	1,730	1.8
上田八木短資株式会社	1,676	1.7

(注)当社は、自己株式を6,131千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。  
持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

## 所有者別株式分布状況



住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取・買増請求、マイナンバーのお届出等の各種お手続きについて	未受領の配当金のご照会・受取について
<ul style="list-style-type: none"> <li>●証券会社の口座を開設されている株主様 お取引のある証券会社へお申し出ください。</li> <li>●特別口座に当社の株式が記録されている株主様 当社の特別口座管理機関である三井住友信託銀行へお問い合わせください。</li> </ul>	三井住友信託銀行へお問い合わせください。 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
※特別口座に株式が記録されている株主様は、証券会社に口座を開設し口座振替のお手続きをご検討くださいますようお願いいたします。(特別口座とは、株券電子化に移行されるまでに株式会社証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託されなかった株主様の権利を保護するために当社が開設した口座です。)	

## 役員

取締役	執行役
取締役会長 前田 東一	代表執行役社長 浅見 正男
取締役 浅見 正男*	執行役専務 大井 敦夫
社外取締役 宇田 左近	執行役専務 野路 伸治
社外取締役 国谷 史朗	執行役専務 戸川 哲二
社外取締役 澤部 肇	執行役専務 木村 憲雄
社外取締役 山崎 彰三	執行役専務 沖山 喜明
社外取締役 大枝 宏之	執行役 長峰 明彦
社外取締役 橋本 正博	執行役 宮下 俊彦
社外取締役 西山 潤子	執行役 勝岡 誠司
取締役 藤本 哲司	執行役 喜田 明裕
取締役 津村 修介	執行役 永田 修
※は執行役兼務	執行役 中山 亨
	執行役 曾布川 拓司

## 株式事務

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月に開催
基準日	12月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	12月31日 中間配当を実施するときの株主確定日は6月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 <a href="http://www.ebara.co.jp">http://www.ebara.co.jp</a> ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行きます。
証券コード	6361
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部



## 秋の現場見学会のご案内

当社製品の活躍現場を見学いただき、当社がどのように社会や産業に貢献しているかご理解いただくためのイベントを開催いたします。この機会にぜひご応募ください。



個人株主様向け  
春の会社説明会は  
3月発行のThe EBARAにて  
ご案内いたします。  
お楽しみに!

応募締切 **9月27日(金)**

※はがきの場合は当日消印有効

### 複合商業施設コース

日時	2019年11月21日	開発地区全体へ空調の冷熱源を供給する地域冷暖房システムをご見学いただけます。
集合・解散	六本木駅周辺	
募集人数	20名	

9月中旬より当社WEBサイトで募集開始!

### 水族館コース

日時	2019年10月頃
集合・解散	都内

対象者 > 2019年6月30日現在、当社株式を100株以上保有の個人株主様

参加費 > 無料  
(ただし集合解散場所までの往復費用は各自のご負担とさせていただきます)

**応募方法** 郵便はがき又は当社WEBサイトのいずれかにてご応募ください。

#### ●はがき記入要領●

**郵便はがき**  
郵便はがきに右記の必要事項を記入のうえ、ご応募ください。

〒144-8510  
東京都大田区羽田旭町11-1  
株式会社荏原製作所  
経営IR課 SR担当  
個人株主様向け  
見学会に係

#### 株主様

- ①郵便番号
- ②ご住所
- ③お名前(ふりがな)
- ④年齢
- ⑤電話番号

#### ご同伴者様

- ①お名前(ふりがな)
- ②年齢

- ご応募多数の場合は抽選となります。当選発表及び見学内容の詳細のご連絡はご当選者様への発送をもって代えさせていただきます。
- 複数枚でのご応募はご遠慮願います。
- 見学中の録音及び録画はご遠慮ください。また、見学中は階段の昇り降り等がございますので、あらかじめご了承ください。
- 荒天等、諸般の事情により内容が変更または中止となる場合がございます。その場合はご当選された株主様にご連絡させていただきます。
- 当社が説明会で撮影した写真は、ホームページや株主様向け報告書、社内報等に掲載・使用させていただく場合がございますのでご了承ください。

#### 個人情報の取扱いについて

今回ご応募いただきました株主様の個人情報は、本見学会の実施以外での目的では一切使用いたしません。

お問合せ先

株式会社荏原製作所 経営IR課 SR担当  
TEL: 03-3743-6111(ダイヤルイン代表)  
9:00~17:00(土・日、祝日、その他会社の休業日を除く)

**WEBサイト**

[https://www.ebara.co.jp/contact/ir\\_kengaku/index.html](https://www.ebara.co.jp/contact/ir_kengaku/index.html)

右記QRコードからご応募ください。



株式会社 荏原製作所

発行：ガバナンス推進部 経営IR課  
〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号  
電話 (03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)

